

人口ビジョン Ⅱ人口の将来展望 目指すべき将来の方向

基本目標

1. 魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やつしろ”
 ◇従業者数 48,544人
 ◇製造品出荷額等 2,580億円
 ◇農業者総所得額 56億円

2. 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ”
 ◇観光入込客数 260万人
 ◇観光消費額 130億円
 ◇社会増減数 (H27-H31の累計) ▲1,020人

3. 誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”
 ◇市民の希望出生率 2.07
 ◇65歳以上人口に占める要介護3以上の割合 7.20%以下

4. “やつしろ”の発展を支えるまちづくり
 ◇住みやすいと評価する人の割合 75.0%

基本的方向

- ◆ 県南地域の経済浮揚を牽引する
- ◆ 暮らしの希望を実現する
- ◆ 世界とつながる熊本の副都心づくり
- ◆ 未来に向けたまちづくり

具体的な施策

1. 多様な地域資源を生かす
 (1) 稼げる農林水産業の実現
 ◆担い手の確保、生産体制の確立や低コスト化の支援
 ◆森林資源の需要に応じた供給システム構築と利用促進
 ◆漁場環境保全や水産資源の回復・増大
 (2) フードバレーやつしろ基本戦略構想の推進
 ◆6次産業化等による新商品開発や高付加価値化
 ◆国内外での農林水産物のプロモーション活動
 ◆食品の輸出拡大による流通促進
 ◆食品関連産業や研究開発施設の集積

2. 多彩な地域産業を支える
 (1) 成長産業化への多面的な支援の展開
 ◆販路拡大支援や資金融資等による中小企業の競争力強化

3. 県南の拠点性向上
 (1) 国際貿易港「八代港」の振興
 ◆船舶の大型化や貨物取扱量の拡大などに対応した港湾機能の強化
 ◆海外航路開拓や企業支援等のポートセールスによる港湾利用の促進

◆新技術・新製品等の研究開発事業への支援
 ◆地域の教育機関との研究・開発連携の支援
 (2) 「人材」の確保・育成・支援
 ◆農林水産業の新規就業に係る知識・技能習得支援や就業給付金等
 ◆第2次・第3次産業の地域人材マッチングやスキルアップ等の支援
 (3) 基幹産業の支援・強化
 ◆大規模事業所の維持拡大、地場企業の支援、企業誘致の推進
 ◆農業の経営規模拡大や担い手への農地集積による生産性向上
 ◆研究施設等の政府関係機関の移転誘致

1. 交流人口の拡大
 (1) 地域資源を活かした交流拡大の推進
 ◆観光資源の魅力向上や掘り起こし、来訪者の受入環境・体制整備
 ◆特産品等の地域資源を活かしたブランディング
 (2) 世界に打ち出す観光業の展開
 ◆クルーズ船の寄港促進、外国人観光客の受入環境・体制整備
 (3) スポーツツーリズムの推進

◆スポーツ環境の整備、スポーツ大会等の誘致開催
 ◆スポーツイベントと観光の融合による新たな価値・感動の提供

2. 移り住みたい、住み続けたいまちづくり
 (1) 移住・定住の推進
 ◆本市の魅力や情報の発信、移住者支援の体制整備
 (2) 中心市街地のにぎわい創出
 ◆空き店舗の活用、新規出店補助等による商店街活性化

1. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 (1) 結婚・出産・子育てへの支援の展開
 ◆妊娠、出産、子育ての精神的・経済的負担の軽減
 ◆結婚の希望を叶える取組みの推進
 (2) 働きながら子育てしやすいまちづくり
 ◆保護者のニーズに応じた各種保育サービスの提供

2. 健やかな暮らしの実現
 (1) 健やかで安心な暮らしの確保

◆生活習慣病予防のための健診や保健指導等の充実
 ◆住み慣れた地域で安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」の構築
 (2) 学び・教育の充実
 ◆経済的支援の充実など就学及び学習機会の均等確保
 ◆学校・家庭・地域の連携による子どもの知・徳・体や地域の教育力の向上
 ◆郷土に誇りを持ち、郷土を愛する心を育む教育環境の整備
 (3) 女性の社会参画の支援
 ◆女性の社会参画を支援する仕組みづくり等の推進

1. 誇れるふるさとづくり
 (1) 特色ある地域づくり
 ◆地域活動の支援、コミュニティセンター整備など住民自治の推進
 ◆歴史・文化・伝統の保存継承、特色ある地域づくり活動の推進

2. 暮らしの拠点づくり
 (1) 「生活基盤」の整備
 ◆安心・安全・快適な住環境や交通環境の形成
 ◆再生可能エネルギーの普及、ICT基盤など生活基盤の整備・強化

(2) 災害に強いまちづくり
 ◆地域防災力の向上、災害に強い社会基盤整備等
 (3) 持続可能な公共交通体系の構築
 ◆地域で生活し続けられる円滑な公共交通体系の構築
 (4) 地域間連携の推進
 ◆定住自立圏形成など近隣自治体との連携強化
 (5) 行政の効率化
 ◆公共施設等総合管理計画等に基づく公共施設の的確なマネジメント
 ◆マイナンバーを活用した業務の見直し等

・「やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議」において、課題等の認識共有を図り、将来への取組みを協働で推進する。
 ・PDCAマネジメントサイクルによる施策推進、指標(KPI)による進捗確認、「やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議」の参画による効果検証を行う。